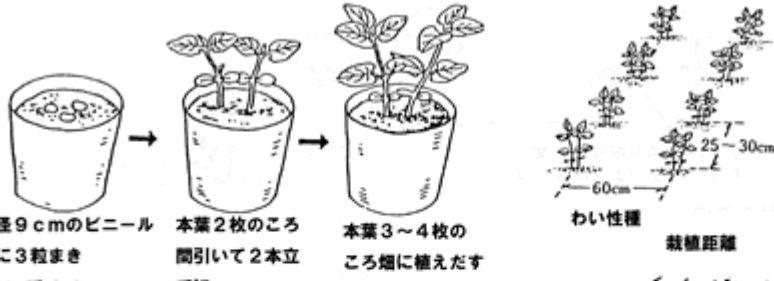


インゲンマメの栽培方法

高温性、早まきしすぎると霜にやられるので、晩霜の危険がなくなってからまく。早づくりの時は育苗法をとる。酸性土壌に弱いので石灰を入れて酸度を矯正する。ウイルス病にかかりやすいのでアブラムシ防除は入念に行う。

① 苗づくり



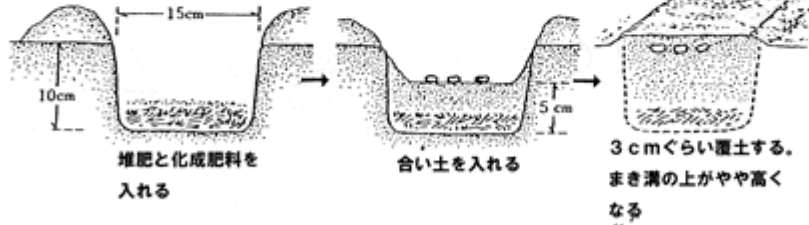
直径9cmのビニール鉢に3粒まき
本葉2枚のころ間引いて2本立てに
本葉3~4枚のころ畑に植えだす

わい性種
栽植距離

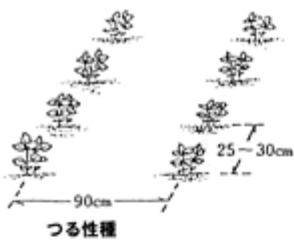
元肥料 (1アール)

苦土石灰	20kg
堆肥	200kg
化成	8kg

② 畑の準備と種まき

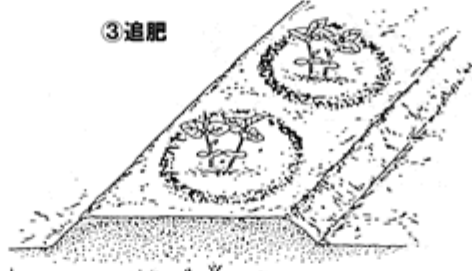


堆肥と化成肥料を入れる
合い土を入れる
3cmぐらい覆土する。まき溝の上がやや高くなる



つる性種

③ 追肥



追肥

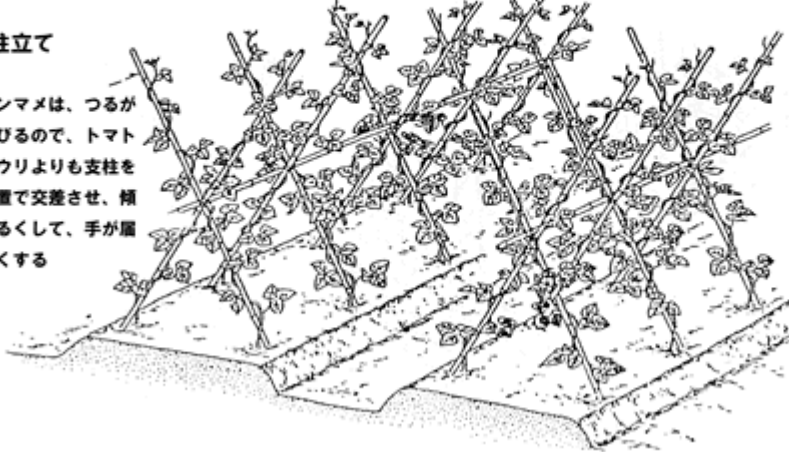
肥よくな畑では必要としないが葉色が淡く生育が悪いようなら間引きのときに1アール当たり2kg位の化成肥料を株元から10~15cm離れたところにばらまく

病害虫防除

生育初期に葉の裏にアブラムシがつくことがある
早期にDDVP乳剤1000倍液を散布する

④ 支柱立て

インゲンマメは、つるが長く伸びるので、トマトやキュウリよりも支柱を低い位置で交差させ、傾斜をゆるくして、手が届きやすくする



○乾燥すると落花しやすい